

(様式3-1) 社会資本総合整備計画 中間評価書

計画の名称	静岡県における流域下水道による汚水処理の推進(防災・安全) 第2期(重点計画)		
計画の期間	平成30年度～令和2年度(3年間)	交付対象	静岡県
計画の目標			

県内処理区域内の生活環境の改善と公共用水域の水質保全に寄与している流域下水道施設の耐震化を図る。

計画の成果目標(定量的指標)

総合計画(静岡県策定)に基づき1流域2処理区に係る施設について、耐震化率を38.9%(H29末)から77.8%(R2末)に増加

定量的指標の定義及び算定式

①	耐震補強が必要な処理場施設のうち耐震補強された施設の割合 (計画期間最終年度末(R2)までに耐震補強が完了した棟数 / 耐震補強が必要な処理場の全棟数)	定量的指標の現況値及び目標値			備考					
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (R2末)						
		39.9%	61.1%	77.8%						
②										
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,100 百万円	A	1,100 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0%

静岡県社会資本整備重点計画における位置づけ

第2期(H20~H24)				第3期(H25~H29)			
分野名	環境・景観			分野名	①活力・交流 ②環境・景観		
目標名	良好な生活環境の確保			目標名	①豊かで活力あるまちづくり・緑と潤いのあるアメニティ空間の創出 ②資源の循環利用の推進		
指標名	①汚水処理人口普及率 ②下水道処理人口普及率	目標値(H24)	①77% ②61%	指標名	①汚水処理人口普及率 ②下水汚泥リサイクル率	目標値(H29)	①79.4% ②98.0%

中間評価

1. 交付対象事業の進捗状況 (○:計画期間中に完成 △:計画期間終了後に完成見込(備考欄に完成予定時期を記入、未定は空欄) -:その他(備考欄に具体的に記入(中止、未実施等))
(計画期間中に他の整備計画に移行したもので、●:本計画の期間中に完成 ▲:本計画の期間終了後に完成見込(備考欄に完成予定時期を記入、未定は空欄))

交付対象事業

A1 下水道事業										全体事業費 (百万円)	進捗 状況	備考						
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業 者	道路 種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)				市町村名	事業実施期間(年度)				
											H30	R1	R2	R3	R4			
狩野川流域下水道東部処理区																		
A07-001	下水道	一般	静岡県	直接	静岡県	終末処理場	改築	水処理施設改築(狩野川流域下水道東部処理区)	水処理施設耐震補強工事1式他 水処理施設耐震補強設計1式他(地震対策)	田方郡 函南町						811	△	
A07-002	下水道	一般	静岡県	直接	静岡県	終末処理場	改築	汚泥処理施設改築(狩野川流域下水道東部処理区)	汚泥処理施設耐震補強設計1式他(地震対策)	田方郡 函南町						20	○	
狩野川流域下水道西部処理区																		
A07-003	下水道	一般	静岡県	直接	静岡県	終末処理場	改築	水処理施設改築(狩野川流域下水道西部処理区)	水処理施設耐震補強工事1式他 水処理施設耐震補強設計1式他(地震対策)	沼津市						198	○	
A07-004	下水道	一般	静岡県	直接	静岡県	終末処理場	改築	汚泥処理施設改築(狩野川流域下水道西部処理区)	汚泥処理施設耐震補強工事1式他 汚泥処理施設耐震補強設計1式他(地震対策)	沼津市						71	○	
											合計					1,100		

B 関連社会資本整備事業										全体事業費 (百万円)	進捗 状況	備考					
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業 者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区				事業実施期間(年度)				
											H27	H28	H29	H30	H31		
											合計						

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

(参考図面)

